



こくふっこ

令和5年度

R5. 4. 20

上越市立国府小学校

今年度も「楽しい学校♪」づくりに努めます

校長 笹川 隆

令和5年度・国府小学校の教育活動が始まりました。全校児童323名、教職員35名（非常勤職員を含む）でのスタートです。

今年度はウィズコロナ、アフターコロナの時代への移行期となっていきますが、学校ではその時々状況に合わせ、引き続き子どもたちの安心・安全第一で教育活動を展開してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度は様々な教育活動について、学校運営協議会で熟議を図り、思い切った教育活動の見直しに取り組みました。おかげさまで、学校職員が、本来最も重視すべき【授業づくり】【学級づくり】【保護者・地域との丁寧な連携】の3つに、力を注ぐことのできる環境が整ってきたと考えています。

右上のイラストは今年度のグランドデザインに示しているものです。今年度はこの「楽しい学校♪」を、子どもたちが主役となって実現できるよう努めてまいります。

子どもたちにとっての楽しさとは、「自分が大切にされていることを実感できること」「授業が分かる・できること」です。職員にとっての楽しさとは、「子どもの成長を実感できること」「やりがいをもって仕事に臨み、達成感を得ること」です。子どもも職員も、楽しく教育活動に取り組むことは、保護者の皆様、地域の皆様にとっての喜びにもつながるものと考えます。

「楽しい学校♪」を目指して…特に大切にしたいこと

☆分かる・できる授業づくりに努めます

- ・分かる・できる授業の実現を目指すとともに、定期的に復習に取り組み、学力をしっかりと定着させます。授業が分かり、学んだことがしっかりと身に付いた実感をもてることが学校生活を楽しくする基盤になります。

☆子どもたち自身が考える学級経営・教育活動を展開します

- ・学級や学校全体で行う教育活動について、できる限り子どもたちに考えさせます。また、日々の生活の中で起きる問題や課題についても、子どもたち自身で解決していけるようにします。このことで、自分たちが主役であるという意識を育て、やればできるという自信を高めます。

☆保護者・地域の皆様と、共に子どもを育てる学校を目指します

- ・良いことも困ったことも、保護者や地域の皆様には、何でも丁寧にお伝えします。子どもたちにとって、何をどのようにすることが最善なのか、子どもへの指導のあり方、様々な教育活動のあり方について、共に考えてまいります。

子どもが主役の楽しい学校づくりを進めることで、子どもたち自身が、新しい時代を切り拓いていけるような力を育てて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



＜4月の学校教育活動の様子＞

新任式・始業式・入学式

4月7日（金）令和5年度の国府小学校の教育活動がスタートしました。

新任式、始業式で新しい職員や担任を紹介したのち、入学式を行いました。1年生の子どもたちは緊張しながらも元気に体育館に入場し、校長先生やPTA会長のお話をしっかりと聞いていました。在校生も数年ぶりに一堂に会しての式となりました。在校生の6年生代表児童があいさつをすると、自然と拍手が起きるなど、温かく穏やかな雰囲気の中での式でした。

4月25日には、「1年生を迎える会」も計画されています。6年生のリーダーシップのもと、全校が一つになって行事や活動に取り組んでいってほしいと思います。



各学年の活動から

各学年の教育活動が本格的に始まっています。生活科や総合的な学習の時間など、それぞれの学年の計画に沿って進められています。

今回は2年生と6年生を紹介します。今後もそれぞれの学年の様子をお伝えしていきます。

2年生

春を味わおう！

～つくしのおひたし～

生活科の学習として、春を感じる探検に出かけました。

春らしいさわやかな天気の中散策に出かけた子どもたちは、たくさんの「春」を見つけました。

なかでも、「つくし」が食べられる植物と知って驚きました。

早速摘んできたつくしを茹でて、おひたしにして味わいました。

「これが春の味か！」と味わう子どもたちでした。



6年生

八重桜まつり「俳句ツアー」

五智歴史の里会館にて行われた「八重桜まつり」に参加してきました。

観光ボランティアガイドさんに案内されて、周辺の観光スポットの散策をしてきました。そこで見た景色や心に残ったことを素敵な俳句に表しました。

＜子どもの作品から＞

- ・うぐいすの 声で桜が ひらひらと
- ・国分寺の きれいな桜 雪のよう
- ・国分寺 桜ひらひら おどってる
- ・風吹いて 背中に落ちる 桜の花

